

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小林議員 (自民党)	<p>1.官製談合防止法違反再発防止検討報告書の正当性について</p> <p>2.不登校対策としての居場所づくりについて</p> <p>3.落書き・タギング(tagging・マーカー)・張り紙防止に対する再認識と新たな対策について</p>	<p>第三者委員会を設置せず、有識者会議のみで再発防止策を検討する組織を構成し対応を行ったことには、誤りや矛盾が含まれていると考えるが、この点についてどのように認識されているか。</p> <p>2023年度、不登校の小中高校生は34万6千人を超え、過去最多となりました。そのうち4割の子どもたちは、学校内外で専門家による相談や支援を受けられず、学習ができない状況。このような不登校の子どもたちが安心して過ごせる居場所を早急に整備することが急務。 千代田区では、不登校児童・生徒への支援策として、4つの柱で対応を進めている。1.校内教育支援センター・スペシャルサポートルーム(SSR) 2.適応指導教室「はくちょう教室」 3.VLP(バーチャル・ラーニング・プラットフォーム) 4.フリースクール これらの支援機関が現在どのように機能しているか、不登校の実態について具体的な数値の把握や調査が進んでいるかお示してください。また、新たな不登校支援の選択肢として、生徒や保護者の声を基に夜間中学との協働の可能性についてのご見解は。</p> <p>最近、区内の広範囲で落書きやタギングの被害が急増。かつて対策を施した「いいだべえ」も34年が経過し、再構築が急務。さらに、被害は神田三崎町や水道橋、神保町などにも広がり、従来の対策では効果が見られない。このままでは治安がさらに悪化し、手遅れになる。現状の再認識と、新たな対策の実施が必要。如何か。</p>	区 長 教 育 長 関係理事者
2	はやお議員 (自民党)	1.官製談合防止法違反に対する公益通報について(令和6年10月10日予算決算特別委員会総括質疑)	<p>樋口高頭区長は、予算決算特別委員会において官製談合防止法違反について「あるいは本事案の発覚については、別の議会関係者にこの元議会局の事務局長が相談したりと、このようなことが分かってきました。私は信じられない思いでした。」と答弁した。そこで、以下について区長に問う。</p> <p>(1)「私は信じられない思いでした。」とは具体的にどう言うことか。 (2)元議会局の事務局長が議会関係者と相談したことは公益通報の観点から違法行為か。 (3)議会関係者の明確な定義は何か。 (4)その関係者とは誰か。</p>	区 長 副 区 長

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	はやお議員 (自民党)	2.入札不正行為等再発防止検討報告書(令和6年7月)と東京地方裁判所判決文(令和6年6月13日)との相違について	<p>判決文の量刑理由の中に「被告人は、上司からの指示・命令や共犯者である区議からの依頼があって、断りづらい状況にあったとはいえ」とある。一方、再発防止検討報告書 P4 では「当時の副区長が、元職員 B に対し、元区議 A から契約に関する問合せがあれば対応するようにとの趣旨が伝えられたとされているが、ヒアリングや関係資料を精査した結果、本件事件に同副区長が具体的に関与したと認めうる事実は確認できなかった。」と明らかに相違がある。そこで、(4)以外は区長に問う。</p> <p>(1)前述の委員会にて区長は「区議から不正な情報をよこせということがあったとしても、」と答弁しているが、本事案においてそのような働きかけの事実はあると認識しているのか。</p> <p>(2)そうであれば上司からの指示があったとする判決の事実認定をどのように認識しているのか。</p> <p>(3)判決後にまとめられた調査及び再発防止対策検討委員会の報告書では前副区長について「秘密情報の漏えいに関与したとまでは認められないと判断した」とあるが、どういう調査をしたのか。</p> <p>(4)調査及び再発防止対策検討委員会の委員長である坂田融朗副区長はこの相違についてどう考えているのか。</p>	区 長 副 区 長
3	田中議員 (国 民)	区民の家計を支援する経済的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰インフレが続く中、区の税収は過去最高を更新し続け、10 年来ほぼ上向き ・賃上げしても増加の一途を辿る国民負担や、高いインフレ率によって可処分所得・手取りが増える実感がない現状 ・税収増を続ける区の豊かな財源を区民へと還元し、区民の生活、区民の家計の財源を豊かにする家計支援の経済対策を 	区 長 関係理事者
4	永田議員 (自 民)	マルチスポーツと武道の普及について	<p>スポーツ庁では、今年度より日本型マルチスポーツ環境構築に取り組みはじめた。幼少期から一種目のスポーツしかできなければ、可能性を失ってしまうことになりかねない。運動神経は様々な運動の経験値によって発達することから、多種目を取り入れるマルチスポーツの概念は理にかなっている。さらに、武道の普及にもつながることも期待される。部活はもとより、生涯スポーツの観点からマルチスポーツを推進してはどうか。</p>	関係理事者

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	白川議員 (自民)	<p>1.義務教育における指導方針について (1)区は義務教育の学習方針について、基本と応用を切り分けて考えているか。 (2)基本の大切さについて認識があるか。 (3)暗記や暗唱の大切さを認識しているか。</p> <p>2.学校の自主性について (1)学校による運営の自主性についてどのように考えているか。 (2)学校を守るためにどのようなことができるかと考えているか。</p>	<p>1.義務教育における指導方針について ・学習には基本と応用があり、考える力を養うにはその土台として基本の充実が必要。 ・ゆとり教育やフィンランド式教育の失敗は基本と応用の切り分けができていないことが原因。 ・義務教育では基本をしっかり学ぶことが最重要。 ・基本では暗記・暗唱が決定的に大切。 ・暗記した事項を問題演習で無意識化できなければ、考える力を養う条件が得られにくい。</p> <p>2.学校の自主性について ・朝日新聞で区立中学校のダンス部のことが不正確に書かれ、まともに訂正もせず批判で続報で曇みかけた。 ・学校の運営は基本的に学校に任せるべき。義務教育の主体をマスコミが一つの立場から批判するのは過剰であり、朝日の姿勢は異常としか言いようがない。 ・区はそのような悪意から学校を守り、学校の自主性を守る責務を負っている。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
6	おのぞら議員 (次世代)	<p>次世代育成手当に代わる子育て支援策について</p> <p>路上喫煙の罰則と対策について</p>	<p>児童手当制度の拡充により千代田区独自の制度であった次世代育成手当の支給が終了した。区が他自治体に先駆けて推進した制度に国が追いついたともいえるが、学習費や物価は上昇が続いており、子育てを取り巻く状況は一層厳しくなっている。次世代育成手当の評価や地域特性も踏まえ区独自の支援を継続することが必要ではないか。見解を伺う。</p> <p>コロナ禍の収束による人流の回復や外国人観光客の増加により路上喫煙過料処分の件数は増加している。過料の金額設定が行われてから 20 年以上が経っているが、違反の抑止に効果的な金額であるか検証が必要では。また、過料のキャッシュレス決済、生活環境改善指導員数の増加や取締時間の延長、土日や夜間に利用可能な喫煙所の増設といった取り組みも必要ではないか。見解を伺う。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	米田議員 (公明)	GIGA スクール構想について 子育て支援について 循環型社会について	<p>・令和2年11月から導入している GIGA スクール構想。千代田区の地域リソース、教育リソースを活用し、子どもが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくことをめざし取り組んできた。そこでこれまで取り組んできた成果と課題、また今後、どのように推進していくのか、ハード、ソフト面、指導体制をどのように進めていくのか。</p> <p>●GIGA スクール構想でのタブレット端末の更新について これまでの0～就学前の支援について伺う。</p> <p>●子育てひろばについて</p> <p>●紙おむつ・おしりふき支援事業について 令和6年8月2日に第五次循環型社会形成推進基本計画を閣議決定しました。本区も「資源循環型都市千代田」の構築に向け取り組んできた。 そこでこれまで取り組んできた成果と課題、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>●リサイクルの取り組みについて</p>	区 長 教 育 長 関係理事者
8	林議員 (自民党)	○区長が任期4年で実現できなかったことは何か？ ○石川区政との相違点は何か？ ○副区長依命通達	<p>▷実現できた施策</p> <p>▷実現に至らなかった事案とその原因</p> <p>▷公約「多選自粛3期まで」に実現したい施策は何か</p> <p>▷区民人口8万人となったときの千代田区の課題は？</p> <p>▷計画行政の評価</p> <p>▷全国初の事業展開の評価</p> <p>▷策定方針と事業実施</p> <p>▷江戸開府400年事業の評価</p> <p>▷区長は区議会議員の職責は何と認識しているか？</p> <p>▷職員と議員との関係をどうしたいのか</p> <p>▷職員による議員の複数対応は効率的か？</p> <p>▷依命通達による公文書の取り扱いと公表手続き</p> <p>▷組織風土への影響は？</p>	区 長 副 区 長

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	のぎわ議員 (維新)	<p>1.千代田区での外国人観光者及びその消費増加の取り組みと「海外姉妹都市提携」の推進</p> <p>2. 11月30日の「人生会議の日」について</p> <p>3.「災害防災対策は常に時代の最先端としてブラッシュアップしないとイケない。いろんな分野で事業を見直さないとイケない」について</p>	<p>(1)千代田区内の多くのイベントについて、外国人観光者及びその消費増加のためにも、千代田区を海外に知ってもらうためにも、外国人観光者及びその消費増加に焦点を当て担当者(業務)を設けて、そのためのPDCA及びOODAサイクルを回して効果検証しながらその増加管理をしては? 担当者(業務)は、インバウンド誘致関連イベントを担当する課、千代田区観光協会、東京商工会議所、等と連携しイベント情報を集約管理して、東京都(将来日本全国)内の全駐日外国公館とその大使を含む外交官(特に経済部長)と、情報交換・連携をして、外国人観光者及びその消費増加数値実現をしては?</p> <p>(2)(1)を通じて、東京都内の、いずれは、日本の全駐日外国公館とその大使を含む外交官(特に経済部長)と、情報交換・連携を通じて、千代田区と親和性のある都市と「海外姉妹都市提携」をするために、「海外姉妹都市提携」の推進を本格化しては?</p> <p>(1)千代田区で「人生会議」を推進する条例制定はいかが?</p> <p>(2)「人生会議」のことを理解し、実践いただくために、今よりも積極的に民間企業・大学・医療機関と連携しながら、開催はいかが?</p> <p>(1)人口呼吸器をつけている方、人工透析を受けている方の治療のための有事の際の水、電源確保はできているか? 対策は、企業及び東京都との災害時協力協定の締結でしょうか?企業及び東京都との災害時協力協定の締結も含め、いろんな分野で災害防災対策事業を見直して、そのブラッシュアップはいかが?</p>	区長 関係理事者
10	牛尾議員 (共産党)	<p>区政アンケートに寄せられた声によって、樋口区政の4年間をチェックし、いくつかの施策を問う</p>	<p>①樋口区政の4年間の福祉がどうだったのかを指摘したうえで福祉への支援策を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料の負担軽減策を ・子どもの入院給食費の無償化を ・75歳以上の医療費窓口負担の軽減策の検討を <p>②千代田区に住み続けにくくなってしまった区のまちづくりの転換を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住み続けたい」願いに応え、家賃助成の拡充と公営住宅増設の真剣な検討を ・ヒートアイランド対策のためにも緑を豊かにすることを求める 	区長 教育長 関係理事者

発言通告書(総括表)

令和6年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
10	牛尾議員 (共産党)	選択的夫婦別姓制度について	<p>③子どもたちがのびのびと遊べる遊び場や公園の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールができる場所の設置 ・バスケットゴールやスケボーができる場所の設置 ・公園の整備計画については子育て世代や子どもたちの意見を十分に反映することをもとめる <p>・選択的夫婦別姓制度について区長の認識を聞く</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
11	大坂議員 (自民党)	ちよだスマートスクール 保健所の課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省によって GIGA スクール構想が提案されて 5 年が経過した。これまでの成果と課題、今後に向けた取り組みについて伺う。 ・千代田保健所機能の現状と課題。 ・子ども家庭センター設置への取り組み。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
12	岩田議員 (次世代)	<p>電動キックボード LUUP の対応策について</p> <p>区長のこの 4 年間の仕事に対する自己採点は</p> <p>学士会館の一部を保存することに伴う再開発について</p> <p>日本テレビ再開発における『番町次世代シンポジウム』</p>	<p>便利な乗り物として普及し始めている電動キックボードの LUUP だが、海外でも危険であるなどの理由で禁止されている都市も少なくない。 千代田区では今後何かしらの対策はあるのか、もしくはしないのか。</p> <p>区長自らこの 4 年間で自分のやってきた仕事に対する点数をつけていただきたい。殊に何が区民にとって良いことであったかなどをお聞きしたい。</p> <p>区道の廃道についてなど、再開発について問う。</p> <p>『前向きに話し合える場』について</p>	区 長 関 係 理 事 者